

兵庫県保険医協会

但馬支部ニュース

No.151

2017年1月25日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660
谷垣医院 TEL/079-644-0010 FAX/079-644-0706



新年のごあいさつ

但馬の医療を守るため 私たちの真価が問われる年に

支部長 谷垣 正人

新年おめでとうございます。

地域医療はいま大きな変革の時を迎え、地域医療構想や新専門医制度などが目白押しです。その具体化のひとつなのか、但馬地区でも昨夏突然、医師不足と耐震化の必要性を理由に、豊岡病院日高医療センター(99床)の無床化・建て替え計画が発表されました。

住民から反対の署名運動が起き、保険医協会但馬支部でも署名に協力しました。「地域医療を守る但馬の会」と「日高区長協議会」の2つの住民団体により、短期間で日高町のほぼ全住民の反対署名が集められ、豊岡病院組合は当初計画を12月の同病院組合議会へ

提案できなくなりました。

2016年末の神戸新聞の正平調欄に、次のような短歌が掲載されていました。

「爪楊枝のはじめの一本抜かんとし集団的な抵抗に会ふ」(花山多佳子歌集『晴れ・風あり』より)。当局はまさにこのような心境でしょうか。医師不足は続き、またいつ同じような計画が出てくるかわかりません。しかし、医師不足は住民のせいではなく、住民が爪楊枝のように1本1本を寄せ合って抵抗するのは当然です。

協会の支部としてどう関わるのか、私たちの真価が問われる年になりそうです。

支部シリーズ企画『他科を知る会』（シリーズ第12回）

高齢者の腰臀部痛で悩んだ例から

支部は、昨年12月8日に公立日高医療センターで第12回『他科を知る会』（整形外科領域）を開催、会員ら9人が参加した。

講師の芦田一彌先生（公立日高医療センター顧問）は、「高齢者の腰臀部痛で悩んだ例から」をテーマに講演、多数の症例が検討された。



多数の症例が検討された

芦田先生は講演の中で、高齢者は一般的にさまざまな疾患を合併していることが多く、その中でも日常よく経験する脆弱性骨折である「脊椎骨折」、「骨盤輪骨折」から合併疾患に因り、以後ADLに障害が残り、日常生活のQOL低下を来した症例を紹介した。また、高齢化が進む但馬地域において、開業医が腰臀部痛を訴える高齢患者を診察するポイントを解説した。支部では今後もシリーズ企画で開催を予定している。

幹事会だより

2016年10月22日(日)けんこう会館(但東町)で第169回幹事会を開いた(5人出席)。以下、主に議論された内容を報告する。

- 日高医療センターの問題では、地域の住民団体が無床化反対の署名に取り組んでいる。協会但馬支部としても会員に署名協力を呼び掛けたい。
- 来年の支部総会に向けて、記念企画のテーマ、講師等を今から検討する必要がある。「地域医療ネットワーク」、「地域包括ケア」をテーマに開催してはどうか。

※幹事会は、会員の先生あればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、担当事務局 足立（TEL：078-393-1805）まで。

在宅医療点数研究会

在宅医療に関する保険請求の基本から 具体的な事例まで解説

支部は昨年12月10日、じばさん但馬で医科在宅医療点数研究会を開催、会員ら11人が参加した。講師の下山均副支部長は、保団連発行テキスト『在宅医療点数の手引』を使用して、これらの制度と請求方法のポイントについて分かりやすく解説した。



スライドを用いて分かりやすく解説

「入院から在宅へ」の政策が押し進められる一方、在宅医療点数は

改定を経るごとに複雑さを増しており、但馬地域の会員医療機関から協会への問い合わせも多数寄せられている。

講師の下山副支部長は、スライド資料を用いて、「往診と訪問診療の違い」、「強化型在宅療養支援診療所の届出」、「同一建物と単一建物の違い」、「在宅で使用した材料や薬剤の算定方法は」など、在宅医療点数の基本から具体的な事例まで解説した。参加者らは熱心に講師の話に聞き入り、終了後も質問が相次いだ。

— 保険医協会の共済制度がお勧めです！ — 受付期間はお問い合わせください

団体定期
生命保険

グループ保険

保険の見直しに効きます！
ネット生保と比べてみてください

- 団体保険だから断然安い保険料
- 過去7年の平均配当率46%
- 最高5000万円の高額保障
- 最長75歳まで保障
- 配偶者1000万円セット加入あり
- いつでも増額・減額OK

1月から制度改善を実施
66～70歳の最高保障額を、
3000万円に引き上げました。

傷病時の休業に備えて
非営利の共済が有利です

休業保障制度

割当掛金が満期まで上がりません
脱退一時金、弔慰金給付あり

積立金総額1兆2千億円
中長期の資産運用に

保険医年金

自在性が魅力！1口単位で解約・
中断・再開が可能

協会の積立年金
従業員も加入OK！

DefL デフェル

個人年金保険料控除がとれる個人
年金型と自在性の一般型

所得補償保険、医賠責、団体割引きの自動車保険と火災保険

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

☆投稿募集☆

先生方の投稿を募集しております。日常診療・趣味など何でも結構です。お写真などもお気軽にお寄せ下さい。

協会事務局 足立まで

TEL:078(393)1805

FAX:078(393)1802

日高医療センター問題で住民集会

「入院できる日高病院を」

豊岡、朝来の2市でつくる公立豊岡病院組合が日高医療センターを耐震化するための建て替えを計画している問題で、11月12日に「入院できる日高病院を！但馬住民集会」が日高地区公民館で開催、地域住民ら120人が参加した。

但馬地域の医療関係者や住民などでつくる「地域医療をまもる但馬の会」が主催。

同会代表の千葉裕たじま医療生協理事長は、協会但馬支部も会員医療機関に協力を呼びかけた署名が患者や老人会などの協力で5,800筆を超え、地区の区長らによる住民署名も1万筆を超えたことを報告し、日高医療センターの入院機能を守る運動をさらに進めるよう呼びかけた。

集会では、谷垣正人支部長、藤井高雄副支部長が地元医師の立場から発言。谷垣支部長は、地域の入院ニーズを調査し、住民参加と意見を反映し、

長期的展望で計画を決める必要性を強調した。藤井副支部長は、リハビリや透析など病院機能の発展と、必要に応じて地元で入院できる病院の必要性を指摘した。

公立豊岡病院組合は、建て替えに伴う病床廃止に対する地元住民の反対意見もあり、同医療センターの建て替えの基本計画書案の作成を先送りすることを決めた。12月に開会された同病院組合定例議会で同病院組合管理者が「住民要望を踏まえた対応の検討と、センター職員との協議を十分時間をかけて行うことにした」と報告している。

同病院組合は計画書案に盛り込む内容や作成時期の見直しを検討。計画書案を3月までにまとめ、3月議会では計画書案の説明をするが、関連予算案の提出は2017年度に見送る見通しとなった。



(写真上) 地域住民ら120人が参加

(写真下) 谷垣正人支部長、藤井高雄副支部長が発言